

問 山林、耕作地の放棄防止対策は環境保全の観点からも全津市として取り組めないか。

答 耕作放棄地の発生は、農業・農村の有する公益的機能の低下や市民全体の生活環境に対する悪影響といった観点からも発生防止は重要な課題であり関係部局と連携して取り組みたい。

●一般質問●

1 生活排水処理アクションプログラムの見直しについて

- (1) なぜ今見直しなのか
- (2) 見直しによる市民へのメリ

- ットはあるのか
- (3) 市町村設置型浄化槽整備について

2 津市地域防災情報通信システム整備計画について

- (1) 防災行政無線の運用について
- (2) 自主防災組織への運用について

3 津市における山林、耕作地の放棄防止対策について

▶放棄された耕作地



- (1) 山林の未植栽等の放棄防止対策について
- (2) 農地の耕作放棄防止対策について
- (3) 環境等多面的な見地からの放棄防止対策について

4 津市入札制度について

- (1) 最低制限価格の見直しについて

問 各自治会の懸命な労力と協力で得た資源ごみ売却による莫大な収益をなぜ還元しないのか

答 還元策の一環で、生ごみ処理機等購入補助、集団回収の報奨金やごみ一時集積所の新設改修補助を行っている。総合計画等のごみ処理の費用負担の在り方の中の議論としていきたい。

●一般質問●

1 国民健康保険の健全運営について

- (1) 平成21年度の国保会計は基金をすべて取崩し、法定外（一般会計）から約9,142万円の繰入により運営されているが、このような状況で平成22年度の国保運営はどのように財源を捻出するのか

- (2) 平成21年度の国保料の年間総額、約62億円、累積滞納繰越金、約28億円、このような状態は異常ではないのか
- (3) 保険料の値上げを検討すると聞かすが、財政難により運営ができなければ値上げという安易な行為に走る前に、保険料の収納率向上が大前提ではないのか
- (4) 国保料は「負担能力のある人には等しい負担を求める」という租税の原則に抵触していないか
- (5) 生活費を切詰めて真面目に保険料を支払っている被保険者にこれ以上の負担は現実的でない。法定外繰入により処理せよ
- (6) 医療費の抑制策はどのようなものか

2 特定健康診査と保健サービスについて

- (1) 特定健診受診目標が厚労省の基本指針が示す参酌標準65

%に則して平成20年度から24年度まで設定されているが受診状況は

- (2) 受診者の受診率向上のため利便性の配慮と自己負担の軽減はどのように図られているのか
- (3) 特定健診ではこれまで実施されてきた基本健診における必須項目であった検査が一部削除されたが、削除された健診項目は地域保健事業として実施する必要性が高いとの判断のもと、市町村が一般会計からの拠出による任意の健診として実施することとされた。いわゆる上乘せ健診であるが、わが市においての実施状況は
- (4) 特定健診で異常が見つかり生活改善が必要と診断された人は、「積極的支援」及び「動機付け支援」を受けなければならないが、申込者が1割程度である。何が原因なのか